

株式会社 草間組

DX宣言書

2024年9月13日
株式会社 草間組
代表取締役 草間 一嘉

□ 経営理念

顧客と地域社会に貢献し、社員・家族の幸福を実現する

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の活用により労働生産性の向上を図り、社員がこれまで以上に働きやすさ・働きがいを
感じられる職場環境の実現を目指します
- ◆ 生産性向上によって捻出された時間を活用し、若手社員への育成強化やICT活用工事の本格化、地球環境
に配慮した施工方法の検討等に取り組みます

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在～2026年9月)

戦略 「生産性向上に向けた、業務フローの見直しとデジタルツールの選定」

- 施策
- ・ バックオフィスの一連の業務がつながるように、業務全体を俯瞰し、最適な業務フローへ見直し
 - ・ 新業務フローに必要なデジタルツールを選定
 - ・ ICT活用工事の実施に向け、現場で負担なく使い始められるデジタルツールを選定
 - ・ 新たなデジタルツールの導入に向けたスケジュールを策定
 - ・ 一部の現場社員に外部研修を受講させるなど、ICT活用工事の実施に向けた人材育成を実施

➤ フェーズ2(現在～2026年9月)

戦略 「生産性向上に向けたデジタルツールの導入と活用の定着化」

- 施策
- ・ フェーズ1で選定したデジタルツールを、策定済みスケジュールに沿って順次導入
 - ・ 社員向けのユーザマニュアル整備や説明会を実施し、デジタルツールの活用の定着化に向けフォロー
 - ・ デジタルツールの導入効果の検証や、ユーザである社員の声の収集を通じて、さらなる生産性向上に
つながる施策を検討・実施

➤ フェーズ3(2026年10月～2027年9月)

戦略 「DX推進の振り返りと、生産性向上によって捻出された時間の有効活用」

- 施策
- ・ これまでのDX施策について、良かった点や効果、改善すべき点などの振り返りを実施し、今後のDX
推進における方向性を改めて策定
 - ・ 生産性向上によって捻出された時間を有効活用し、若手社員への育成を強化
 - ・ ICT活用工事を本格的に実施するために、デジタルツールの選定・導入や、それに伴う作業手順の
見直しを実施
 - ・ 新しいデジタル技術を活用した、地球環境への影響を最小限に抑える施工方法の活用を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 社員満足度(※) : 全社員の満足度60%以上(～2027年9月)

※現状の測定方法により確認